2014年 11月 20日発行

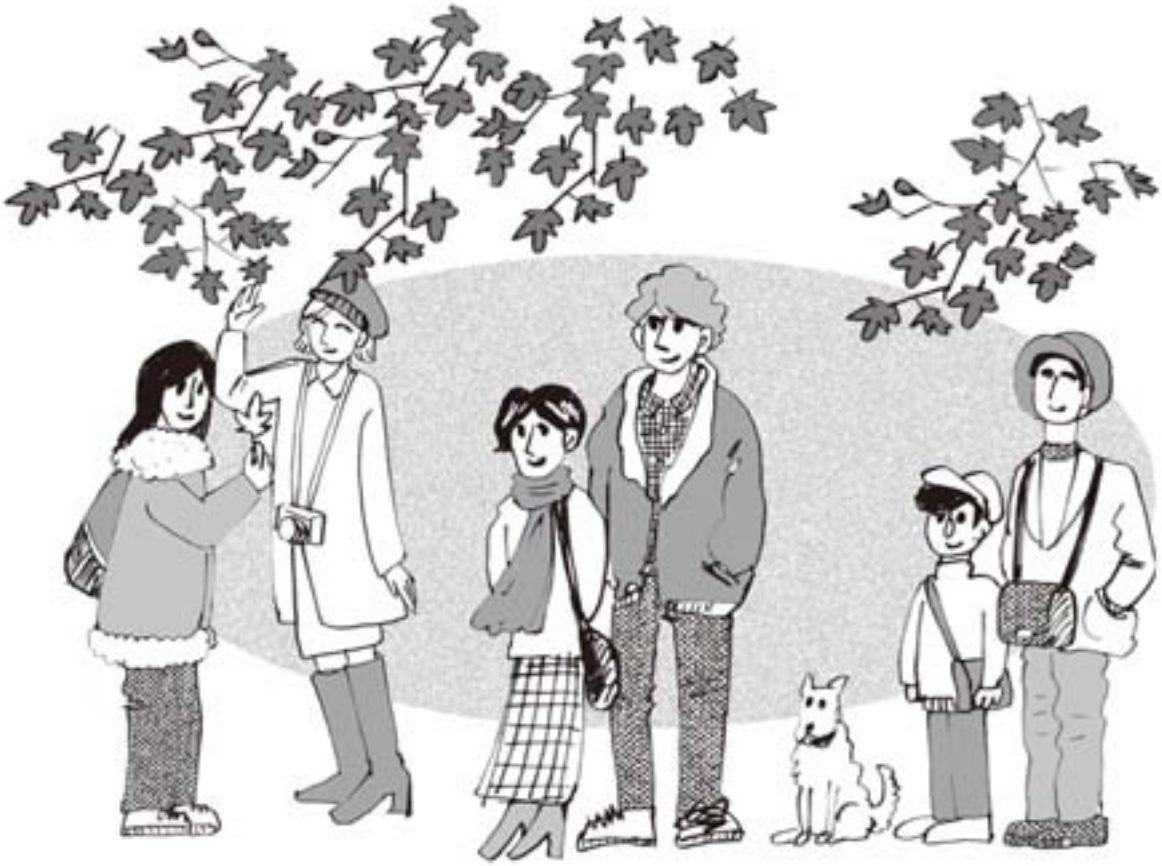
MiNT ミント

Vol.3

みんなで決めよう「原発」国民投票　会報誌

街に出て、署名を集めよう！

街頭で署名を集めるって、案外愉しいものです。「いくら呼び掛けても誰も聞いてくれない！」と思えば辛いものですが、「道行く人に話しかけて、メッセージを伝え意見を聞く大チャンス！」と捉えれば良いのです。ポイントは、漠然と空に向かって演説をするのではなく、歩く人に寄り添い、マンツーマンでのコミニュケーションを心がけること。埼玉では「原発」県民投票の直接請求を目指して、懸命の署名集めが繰り広げられています。また、「原発」国民投票も12月から署名キャンペーンを開始します。総選挙の足音が近づき、ますます混沌とする政治情勢の中、一度基本に立ち返り、人々に「原発」国民投票・住民投票を訴える活動に、みなさん是非ご参加ください。（運営委員長・鹿野）



ミント 第3号 目次

2014年度総会および同時開催イベント 3
レポート・・・各地からの活動報告 7
原発埼玉県民投票・ただいま署名期間中 8
関西通信・メンバーも活動も関西味？ 9
告知「署名提出キャンペーン」 10
インフォメーション 11
イベント情報・編集後記 12

この会報は、みんなで決めよう「原発」国民投票に会員登録し、年会費を納めてくださった方にお送りしています。

TOKYO
2014-10-18
YOYOGI

2014年度総会・イベントを開催

「どうする、原発」2人のゲストを招いて、異なる意見を聞く・話す・考える230分

10月18日、代々木オリンピックセンター

議長を務めた宮川、鳥海両氏

総会の司会を務めた関西・本村

活動方針案を説明する鹿野運営委員長

秋風が吹き始めた10月18日、代々木オリンピックセンターにて2014年度総会およびイベント「『どうする、原発』2人のゲストを招いて、異なる意見を聞く、話す、考える230分」を開催しました。関西・本村がレポートします。

2014年度活動報告・会計報告 2015年度活動方針案を採択

午前11時より開催された定期総会では、会員総数146名に対し、総会参加24名、委任79名で過半数の会員の議決権が行使され、会は滞り無く開催されました。参加人数はまだまだ少なく、全国規模の活動であるが故の問題点、東京だけでの開催では遠方から参加しにくいのではという課題も残り、次回以降の総会開催地を移動させる案も出ています。

総会の冒頭には、スコットランド住民投票を現地で取材した大芝健太郎さんからの報告、総会前日より署名期間が開始された埼玉原発県民投票の竹内和泉さんからのアピールを行ったのち、去年一年間の各地での活動報告を行いました。審議事項としては、規約の「会計年度」の定義変更の提案、予算案、活動方針案について採決をとり、滞り無く審議は進行しました。今回の総会でスムーズな進行に役立ったのは、手作りの黄色の「採決カード」でした。挙手だけよりもカウントしやすく、黄色のカードが会場に上がっている光景はとても華やかでした。

質疑応答で、「原発の問題について、中立な立場で活動をしているからこそ賛同している。原発作業員の方や電力会社の方など、原発反対以外の声も聞けるようなイベントを企画して欲しい」という意見が出ていました。忘れてはいけない大切な視点だと感じました。ぜひ、もっと多くの会員の方々に活動の場に参加して頂き、幅広い議論の出来る場づくりに一緒に取り組んでいきたいと思いました。

総会の最後に地域別ミーティング

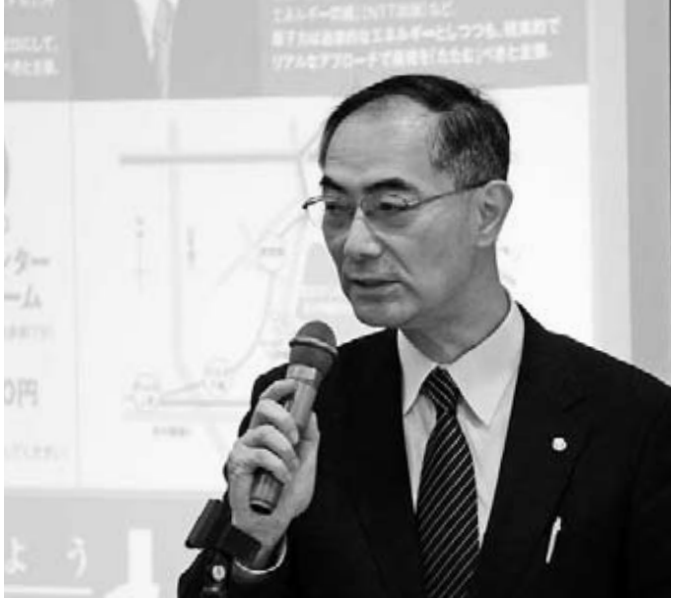
総会の最後には地域別ミーティングの時間を持ち、普段なかなか顔を合わせる機会が少ない会員同士が話すことの出来る貴重な時間となりました。比較的参加者の多かった関東地方は東京、神奈川、埼玉にわかれて、それ以外の地域はまとまって話し合いを行いました。

私の参加したグループは関西、東北、名古屋、千葉のメンバーでのミーティング。「東北へみんなで来て一緒にアピールしてほしい」「総会は今度、関西で開催したらいいのではないか」「千葉でのエネルギー講座の経験を活かして、各地の大学ともコラボレーションしていける活動を起こしていけば良いのではないか」などの意見が出ました。確かに、原発の問題は若い世代のほうがより影響の有る課題。学生のみなさんとも一緒に考えて行動していけるよう、活動の輪を広げることは、今後力を入れていきたいところです。

関西、東北、名古屋、千葉のメンバーでのミーティング。

採決カードを掲げての議案採決のようす。

一橋大学大学院商学研究科教授・橋川武郎さん



講師：城南信用金庫理事長・吉原毅さん

午後のイベント「どうする原発・・」74名の参加を得て盛況に

午後2時半よりイベント「『どうする、原発』2人のゲストを招いて、異なる意見を聞く、話す、考える230分」を開催しました。今回のイベントには総勢74名の方が参加され、賛同人や会員に限らず様々な繋がりの有る方が集まって下さいました。ゲストのおふたりに対する注目度の高さ、また異なる意見を同時に聞くことが出来るという、当会ならではの企画への面白さを感じられたのではないでしょうか。参加者の男女比はほぼ半々、年齢層は50代以上が半分以上、30～40代は30％くらい、20代は10人弱という印象でした。

「未来の子供たちの視点に立った倫理的観点が必要だ」。（吉原毅さん）

1題目の城南信用金庫理事長・吉原毅さんの講演「**原発ゼロで日本経済は再生する**」では、テンポよく淀みなく話し続けられ、その情報量と勢いに圧倒されました。金融機関のトップという立場であり、経済界から得られた内容も多く、興味深いものが有りました。原子力発電所は言うなればパイプの化け物であり、そのパイプのメンテナンスをするために被爆し、またそのパイプは数百ガルの地震で壊れてしまうものがほとんどであること。ドイツには日本の8分の1の再生可能エネルギー資源しかないにも関わらず、果敢にエネルギー転換を推し進めていること。原発を止めたことは最大の経済効果であり、国際収支の赤字は一人勝ちを避けるという意味では必ずしも悪ではない、今の人間の観点からしか考えない現代の経済観から、未来の子供たちの視点に立った倫理的観点への転換が必要なこと。冗談を交えながら語られました。

課題は、吉原さんの描く脱原発社会を望むなら「誰が」「どうやって」それを実現させるのかということ。私たちは政治家の方針転換をただ望むのではなく、私たち自身が覚悟を決めて政治家を動かしていくことが必要であると感じました。

「北風（即時ゼロ）ではなく太陽（縮小）で原発依存度を減らす」。（橋川武郎さん）

2題目の一橋大学大学院商学研究科教授・橋川武郎さんの講演「**リアルでポジティブな原発のたたみ方**」では、ゆくゆくは原子力発電は無くしていくという展望の中、現実的にどのように過渡期のエネルギー源を得ていくのか、どのように現行の原子力政策を縮小し、新しいものへ移行していくのかについてお話しされました。原子力発電をひとつの選択肢として残しつつも、現実的には使用済み核燃料の処理問題（バックエンド問題）の解決は困難であり、日本の高い技術を活かした効率の良い火力発電の開発や、再生可能エネルギーの活用範囲を広げることによってソフトランディングしていく、という道筋を提案されていました。

隣席の４人でグループをつくり、ワークショップの開始。

イベントには 74名が参加。

4つの大グループに編成し、車座になって意見交換。

記入したシートに沿って、お互いの感想を語り合います。

「リアルでポジティブな原発のたたみ方」を、ひとりひとりが「リアルに」考えていくため挙げられた問題点は鋭く、心に残りました。原発推進派はリアリティが足りず、原発反対派はポジティブな対案を提案できていない。原発が1基も動かずに電力は足り、1年以上経っている現実を原発推進派はどう考えるのか。「原発要らない」と叫ぶだけではなく、原発無しで大丈夫という根拠を原発反対派はどう示し、社会に広く理解を広げていけるのか。改めてこれからの活動への気づきを与えてくれる講演でした。

「異なる意見を聞く」ことの重要さ 参加型グループワークショップ

このイベントは、参加されたひとりひとりが主体的に参加し、意見交換できる場を作ることを目的とし、異なった意見を持つ2人のゲストの話から何を感じ、自分はどう考えたか参加者が議論できる時間を設けました。

原発の稼働に対する意見のグラデーションを視覚化するため、「日本で原発を稼働することが必要だと思うか、①（必要である）～⑦（必要でない）の7段階でどこなのか」を記入するシートを用意しました。このシートへの記入は、イベント開始直後、それぞれのゲストの話を聞いた後に記入の機会を設け、自分の意見がどう変わったか、変わらなかったか、その理由は何なのか、ゲストの話は7段階のうちどこにあたるかを考え、参加者同士が意見交換するためのツールとして用いました。

ワークショップ形式のイベントは当会としては新しい試みであり、初めて会う参加者同士が話してくれるのだろうかという心配もありましたが、始まってみるとトークタイムの時間いっぱいまで議論が白熱し、活発な意見交換がなされていました。最初のグループ分けの時間に手間取ってしまったのが反省点ですが、参加されている皆さんが楽しそうに意見交換されている様子は、企画したスタッフとしてはひと安心した場面です。

4～6人の小グループでの意見交換のあとは、会場全体を大きな4グループに分けて意見交換を行いました。各グループ10～12人に対してファシリテーターを置き、色々な人の考えを共有化できるようにしたのも、今回初めての試みでした。顔を合わせながら自分の意見を伝えること、他の人の意見をしっかりと聞くことは、コミュニケーションの基本であると改めて気づかされるとともに、短い時間のなかでも様々な意見を聞くことができました。

みんなで決めよう「原発」国民投票は、原発国民投票の実現を目標にするのはもちろんですが、原発の問題について「賛成」「反対」だけでない多様な意見を聞いて、議論できる場づくりを行うことや、市民の中でもっと自由に原発問題について議論できる素地作りに貢献することも大切ではないかと思います。その点において、今回のイベントは意義のある企画だったのではないでしょうか。私たちひとりひとりにも多くの気づきを与えてくれました。こういったイベントを根気強く続けていく必要性があり、伸びしろはまだまだ有ると感じます。

このイベントでの気づきが、参加した皆さんの今後の活動に繋がり、広がり、活かされることを祈って。

いっぽんびらき、ぽん！

にて幕を閉じました。（巻頭の写真）

最後にファシリテーターから、各グループで話し合われた内容を発表しました。

Report 各地域からの活動状況をリポート。

北海道

◆北海道ではじわじわと道議員選挙に影響を与えられないかという路線に入り、国民投票・住民投票を周知すること、道議員や候補者にアンケートをとる事が基本活動です。今年４月に道議に送ったアンケート結果をフェイスブックにアップしました＜ https://www.facebook.com/domintohyo ＞。当会ウェブサイトにも掲載されています。

千葉

◆ 2014 年５月から９月まで４つの市民グループが千葉大学で行ってきた「市民の、市民による、市民のためのエネルギー講座」は、千葉大学の後期の正式な講義に組み込まれ、10 月より毎週水曜日の「都市環境エネルギー概論」として展開されています。登壇者は、前期と同様の方もいますが、原発国民投票の千葉県賛同人の方が登壇し、講義を行ったりしています。学生と市民を合わせ約 60 名が履修。履行学生の原発反対者はわずか３名でのスタートでしたが、この講義が終了するまでに、どのようになるか、楽しみです。
※詳細は＜ http://echoice.jimdo.com/ ＞

東京

◆東京からは、新たに就任した２人の地域運営委員の挨拶を掲載します。まずは大芝健太郎から。「こんにちは、大芝健太郎と申します。「原発」都民投票をきっかけに、海外の事例を調査に行くまで関心が膨らみました。国民の意見が国政に反映される社会にするために僕もがんばっていきたいと思います。よろしくお願いいたします」。次に、運営委員長兼任の鹿野から。「いまは神奈川に住んでいますが、生まれも育ちも東京です。現在も都内で働いています。都内の会員のみなさんと一緒に、首都・東京から盛り上げていきたいと思っています。よろしくお願いします」。

埼玉

◆衆議院の解散総選挙を受けて署名期間が変更になりました。解散の翌日から投票日までは署名活動は中断となり、その分は延長されます。再開後の署名期間は 12 月 15 日～ 1 月９日までとなります。署名の中断期間も受任者の予約や説明会の開催はできます。私たちにとっては恵みの雨となりそうです。現在受任者数 1,050 人。10 倍には増やしたいと考えています。皆様のご協力に感謝しています。
詳細は原発埼玉県民投票準備会＜ http://saitamakenmintohyo.web.fc2.com ＞

神奈川

◆８月１日、新潟県巻町の原発住民投票をめぐる DVD 上映会を、藤沢市の飲食店「へっころ谷」にて開催。食事しながら和気あいあいの中、住民投票のスピリットを知っていただきました。◆ 10 月２日、同じく巻町 DVD 上映会を茅ヶ崎市で開催。昨年茅ヶ崎市役所建設をめぐる住民投票運動に関わった方も参加していただき「もっと早くこの動画を知りたかった。賛成反対を超えて一般の人を巻き込む事が必要だ。」との感想をいただきました。

静岡

◆「原発埼玉県民投票」の支援・応援をしています。ウェブサイトや SNS ページの担当を引き受けているほか、署名期間に入ってからは現地にも出向き、街頭署名や発送・集計などの作業を手伝っています。署名期間終了まで頑張りましょう! ◆静岡では県民投票実施に向けて県議との話し合いを継続的に行っています。また県主催の防災・原子力学術会議や県議会の傍聴と報告をアナウンスしています。

東海

◆９月 13 日（土）会員・賛同人のつどい。◆９月 21 日（日）白川公園「NO NUKES 10000 人 DEMO」集会で署名活動。◆ 10 月 28 日（火）JR 岐阜駅前にて署名活動。◆ほか定期活動として、毎週土曜日に栄噴水南バスターミナル前署名活動（雨天は中止）、毎月第２土曜日に会員・賛同人月例ミーティングを行っています。

関西

◆９月２８日「さよなら原発北葛の会」との共催で「西野ひかるさんお話し会『間近に原発のある暮らし』」を開催（奈良王寺）◆ 10 月 11 日「満月まつり」にブース出展（大阪市北区中崎町）◆ 11 月８日「しばけんの、この目で見てきたスコットランド独立住民投票」を開催（大阪府吹田市）◆ 11 月９日「第６回北千里駅前チャリティーフェスタ」にブース出展とステージアピール（大阪府吹田市）※９ページ「関西通信」に詳細紹介。

広島

◆広島では、運営委員の衣山さんが引き続き原爆ドーム前で署名を集めています。最近の試みとしては、署名をしてくれた人にお願いをして６つ折チラシを手に持ってもらい、写真を撮らせてもらっています。その写真は、衣山さんが自身の facebook に掲載する他、会のツイッターアカウントでも紹介しています。若い人や年配の方、カップルや家族など、さまざまな署名者の姿が見え好評を博しています。

「原発埼玉県民投票」署名活動中。

署名期間：10月17日（金）～11月21日（金）／12月15日（月）～1月9日（金）

※衆院解散総選挙にともない11月22日～12月14日は署名活動は中断となり、その分延長されます。

原発埼玉県民投票準備会
http://saitamakenmintohyo.web.fc2.com/
TEL：070-5083-9364
www.facebook.com/groups/767473519977582/

埼玉県で原発の是非を問う県民投票を求める署名活動が10月17日に始まっています。「原発埼玉県民投票」の共同代表であり、当会の埼玉県運営委員でもある星丘匡史さん（写真上右）に話を伺いました。（11月2日・鹿野）

原発問題は風化していない。手応えを感じる街頭の反応。

鹿野：11月17日に署名集めを開始してから、約2週間が経過しました。有権者の2％というと、埼玉県の場合は約11万8千筆でしたよね。これまでの手ごたえはどうでしょうか？

星丘：雲をつかむようだね（笑）会のメーリングリストからは活発そうにみえるが、県内の動きをすべて把握しているわけではないから、どうなることやら分からない。

でも、街頭の反応は思ったよりいい。署名簿の持ち帰りも、結構してくれる。都民投票のときから3年が経過しているけど、そんなに変わらない気がする。むしろ、いいかもしれない。それから、これまで市民運動に関わって来なかったような人が、まだ人数は多くないけど、参加するようになってきている。これは嬉しいことです。

鹿野：2週間目としては、悪くない手ごたえといったところですかね。世間では原発問題の風化を心配する声もありますが、その点はどうでしょう？

星丘：風化しているという感じはしないですね。時間が経過したぶん、学んでいる人が増えているんだと思う。

東京都民投票、静岡県民投票の仲間の応援が心強い。

鹿野：今回の活動で特徴的なのは、都民投票や静岡県民投票を経験した人たちが、最初から積極的にサポートしてくれていることです。

星丘：それは、本当にありがたい。埼玉の人たちは地元で署名集めをやっている。HPやブログ、フェイスブックといったネット関係は、静岡の山田さん、神奈川の横岸澤さん、荒井さん、宮本さんなど、県外の人が活躍してくれています。都民投票のときの仲間もたくさん、埼玉まで来てくれています。

鹿野：この会報は、県外の人もたくさん読むことになると思います。発行は11月の半ば過ぎ、署名期間を折り返した頃です。最後に、みなさんにメッセージはありますか？

星丘：まだまだ知名度が低いです。県外の人には、埼玉の知り合いに片っ端からメールや電話で連絡してほしい。なんなら、年賀状を早く出して欲しいくらいです（笑）Web関連の支援、現地事務所での作業、街頭でのサポート、スーパー攻略法の伝授など、やることはいくらでもあります。何かしたい、できそうという人は、ぜひ事務局までご連絡ください。

関西通信

原発立地自治体のリアルな現状を知り考える

9月28日、さよなら原発北葛の会との共催で「西野ひかるさんお話し会『間近に原発のある暮らし』」を開催しました。西野ひかるさんは小浜市在住。京都大学で環境問題を研究し、修士論文『柏崎報告』(http://bit.ly/kashiwazaki) をまとめられた方です。当日はスタッフ含め43名の参加を得て大盛況でした。なかなか聞く事のできない原発立地自治体の現状、生活、脱原発活動への思い、地元活性化、町での話し合いなど、考えさせられる内容でした。「3・11の前と後、若狭の何が変わったのでしょう?」という西野さんの問いかけが印象に残っています。質疑応答も活発で、有意義な会でした。アンケート集計結果等は、http://bit.ly/20140928 に掲載しています。

住民投票を切り口に沖縄イベントに参加

10月11日、大阪市北区・中崎町ホールで開催された「満月まつり」に参加しました。「沖縄に思いを寄せて、同じ月の光に照らされながら、大阪で辺野古のこと、平和な未来について一緒に考えよう」という趣旨で開催されたこのイベント、「原発」国民投票として参加する意義は何か、チームで話し合った結果、住民投票・国民投票という切り口から沖縄、米軍基地、日米安保を考え、訴えようと決定。1996年の「米軍基地の整理・縮小と日米地位協定の見直しについて是非を問う沖縄県民投票」、1997年の「海上基地建設の是非を問う名護市の住民投票」の経緯と論点をパネルに整理して展示しました。ステージでも「原発」国民投票の活動を訴えました。

メンバーも活動も、はんなり関西味?

スコットランド住民投票から日本の原発国民投票を考える

11月8日、「原発」国民投票の東京運営委員でもあるジャーナリストの大芝健太郎さんを招き、取材報告会「しばけんの、この目で見てきたスコットランド独立住民投票」を吹田市のコミュニティハウス「モモの家」で開催しました。日本では民族運動のように報道されがちなスコットランド独立運動ですが、中央政府と地方自治の関係、年齢層や社会的立場による意見の相違、既存の政党と新しい政党など日本とも共通する構造。以前から独立気運が高かったわけではなく、住民投票が日程に上ってから市民の関心が高まりました。家や職場や学校でも自主的な議論が活発に行われたなど、興味深いレポートに、初めて参加したメンバーも含めて議論も盛り上がりました。

ブース、ステージトーク、歌と演奏でもアピール

11月9日に大阪府吹田市の北千里駅前で開催された「第6回・北千里駅前チャリティーフェスタ」にブース出展しました。2013年9月の第4回、2014年4月の第5回に続いて、今回で3回目の出展です。フェスタでは東北支援、原発問題、沖縄問題ほか、吹田市でさまざまな活動を行っている人達のブースが設けられ、ステージでは音楽、座談会などが行われます。「原発」国民投票のブースを設け、パネル展示・署名・物販を行いました。またステージでも「原発」国民投票、沖縄県の住民投票を訴えました。さらに関西チームの本村と大音がミュージシャンとしても出演。ステージで沖縄の歌、島の歌、原発問題の歌を演奏しました。

◆第二次署名提出！！ なぜ、いまなのか。

私たちの活動は、2011 年 6 月に立ち上がってから、毎日どこかで、誰かかが、街頭で、勇気を出して友達に、と集めた署名が 2014 年 8 月末時点で 162,331 筆まで到達しました。これまで、「大事なことは自分たちで決めたい」ということを出発点に、さまざまな取り組みをしてきました。原発への関心は、無視できない課題として多くの人には認識されてきたものの、「自分たちが決めよう」ということへの賛同と理解は、まだまだ乏しいのではないでしょうか。いま、市民に問われることなく政治家や政府のみで、川内原発の再稼働の是非が決められようとしている重大な局面を迎えています。そこで考えました。全国的に署名キャンペーンを行おう!

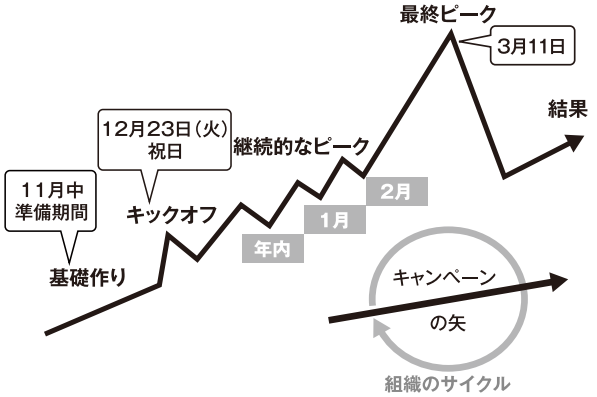
◆全国的な署名キャンペーンを展開し、仲間を広げよう！《署名キャンペーンの準備》

私が「原発」国民投票を支持する理由は「＿＿＿＿＿＿＿＿」。
「原発」国民投票の最大の魅力は「＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿」。
あなたが「原発」国民投票を知り、会員になろうとしたきっかけや理由は何だったでしょうか。会の広報や、著名人の言葉ではなく、あなた自身の言葉で語り伝えることが、最も効果のあるメッセージになります。そのメッセージを身近な人に伝えてみましょう。キャンペーンが終わるころには、会員も増えていることをめざしましょう。

◆キャンペーンは、どのように行うの？

12 月 23 日 全国一斉「街頭署名アピール」！

- 全国の地域の運営委員から、地域の会員・賛同人に署名キャンペーン開催のメールが届きます。
- この機会に、地域で集まりの機会を作ってください。意外に、身近に会員 / 賛同人がいるかもしれません。
- 集まったグループで**「署名キャンペーン目標」**を作ってください。例）「わたしたちは、3 か月で会員を 3 人増やし、署名を 300 筆集めます!」など。
- 12 月 23 日 各地域で街頭署名を行います。
  時間は自由。集会などを企画するのも自由。
  Facebook イベントページや twitter などで呼びかける予定。街頭署名や集まっている様子を各地域で投稿していただきます。



インフォメーション

Information

「原発」国民投票を、まだ知らない人に
みんなでＰＲ、よろしくお願いします！

1 すぐにできること

●**インターネットの活用**／会のツイッターや、facebook、ＨＰ（ホームページ）の情報を、リツイート・シェア・拡散して、会の存在を友人知人に広める。

●**６つ折りのリーフレット**／リーフレットをＰＲツールとして使ってください。イベントや街頭で手配りのほかに、お近くのカフェや店舗に置いていただきましょう。

●**署名を集める**／署名用紙はＨＰからダウンロードできるほか、ご連絡いただければ事務所から郵送します。ＨＰの専用フォームからもネット署名が可能です。

●**賛同人・会員を増やす**／身近な方、署名をいただいた方を賛同人・会員に勧誘しましょう。賛同人は会の目的に賛同する方（賛同金 1,000円）、会員は総会での議決権を持ち活動に参加する方（会費 3,000円）。会員には会報MINTと会員限定グッズをお送りします。

2 お金での ご協力アクション

●**カンパ**／お金の話で恐縮なのですが、チラシ印刷やＨＰのサーバを借りるのもお金がかかります。カンパで会の運営を支えてくださいますと、大変ありがたいです。会計報告は総会でおこなっています。

●**カンパ振込先**／

城南信用金庫　稲　城　支　店　普通口座 335551
口座名：マキカズコ

三菱東京UFJ銀行　新　宿　支　店　普通口座 0141091
口座名義：みんなで決めよう「原発」国民投票　中村映子

三井住友銀行　新宿通支店　普通口座 9601530
口座名義：みんなで決めよう「原発」国民投票　中村映子

みずほ銀行　新宿中央支店　普通口座 2942855
口座名義：みんなで決めよう　原発・国民投票

ゆうちょ銀行　店名ゼロイチハチ　普通口座 1965734
口座名：ナカムラエイコ（店番018/記号10180/番号19657341）

3 ご意見随時募集！

また、会の運営をサポートするスタッフを募集しています。

●**ご意見募集**／６つ折りリーフレットやポスター、缶バッチなどデザイン全般や、ＨＰなどウェブの改善点、当会の運営方法について等々、ご意見ご提案がありましたら、ぜひ事務局までお気軽にお送りください。各地の運営委員を通じてでも良いですし、事務局への電話、FAX、メールでもＯＫです。

●**学習会**／地元で“賛同人交流会”や“「原発」国民投票学習会”を開きませんか？　日時と場所が決まったらお知らせください。ＨＰや、全国賛同人へ一斉メールで、告知します。予定があえば、運営委員長が講師をします。

●**スタッフ募集**／読み物編集部のライター、取材、翻訳、ＨＰ、チラシ、ポスターなどのデザイン、コピーライト、シンポジウムなどのイベントの運営スタッフ、ＨＰ更新、動画・ネット中継の撮影・編集、ツイッター担当ほか。ぜひ、可能な範囲で、ご意見やご提案をよろしくお願いします。「みんなでアクション」スピリットで、多様な意見を融合させつつ、実現に近づけたらと思います。その過程には、「原発」国民投票が実現できる社会へのヒントがあるかも知れません。

イベント情報

東京

12月14日(日)　「価値選択」の議論と原子力利用に関する社会的意思決定
～知識伝達型の「リスクコミュニケーション」論を越えて～（狛江市内）
「原発対話の会」主催、「『原発』国民投票・東京」共催
講師：寿楽浩太(東京電機大)　問合せ：鹿野(090-1702-8136)

千葉

千葉大学「都市環境エネルギー概論」　水曜日5限（16:10～17:40）　※変更になる場合があります。

11月26日（水）　化学プラントからみた原発と事故対応～技術・エンジニアリングのあり方
川本 幸立（プラント技術者の会）

12月3日（水）　我が国の自治体の取り組み　・・千葉県
田中　圭（千葉県千葉県商工労働部・新エネルギー振興室）

12月10日（水）　ご当地エネルギーの利用（太陽光、水力）
丸島忠夫／川本正男（マトリックスエネルギー／新工法開発研究所）

12月17日（水）　あるべき「エネルギー政策」に向けて
村田 佳壽子（環境ジャーナリスト）

関西

11月24日（祝）　ぐるっと周遊関西アピール＠箕面（大阪・箕面）　箕面駅前に14時集合

12月7日（日）　大芝健太郎スコットランド報告会（奈良・王寺）
13時半～16時半（開場13時）　王寺町地域交流センター・フリールーム1

12月21日（日）　パーマカルチャー関西「活祭(かっさい)」に出場予定（兵庫・淡河）

東海

定期活動:栄噴水南バスターミナル前署名活動(毎週土曜日)
会員・賛同人会議月例ミーティング(毎月第2土曜日)

編集後記

「関西味」といえば京料理の「はんなりした」薄味の一方で大阪の、タコ焼き・漫才・ヒョウ柄から「コテコテ」とも。薄味なのか濃厚なのか、どっちなんでしょう。さて会報誌ミント、今号は初めて関西チームの編集・制作でお送りしました。料理はともかく、メンバーの味が濃いと言われる関西チーム。賑やかに、楽しみながら、親しみやすい活動を心がけています。イベント、定例会、気軽にご参加ください。ミントについてもぜひご感想をお寄せください。（大音）

久しぶりに訪れた東京。品川駅の照明が新大阪駅より暗かったです。一方、都内夜景のキラキラしたコンクリートジャングルをみて、エネルギーがじゃんじゃん使われてきた時代の象徴だと感じました。翌日、いのちや暮らしを大切にするイベント「土と平和の祭典」にも行きました。公園内の放射能測定結果がウェブサイトに共有化されており、関西との違いを感じました。（本村）

11月9日の北千里フェスタの際、「MINT3号に「ほーほー」も入れて、関西ならではのハジケた写真を！」と、せっかくお呼びがかかったのに、読み落して「ほーほー」デビューのチャンスを逃しました。次回こそデビューを！　え？「ほーほー」って何って？　知りたい方は、ぜひ関西チームのイベントに参加してください。♪大事なことはみんなで決めよう、「原発」国民ほーほー♪（藤原）

みんなで決めよう「原発」国民投票　会報誌
MINT 第3号　ミント 第3号
2014年11月20日 発行
発行：みんなで決めよう「原発」国民投票
〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12
かわさき市民活動センター　レターケース No.36
TEL：070-5369-9707（PHS）
FAX：03-5539-4046
e-mail：info@kokumintohyo.com
web：www.kokumintohyo.com